

2021年6月22日

## 台湾をサイクリングで一周して感じた環島の魅力と九州での可能性

公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所（研修生） 金子 翔平

### 1. 日台友情・共に走ろうサイクリング環島

世界的な新型コロナウイルス感染症のまん延後、台湾では登山、ハイキング、サイクリングといったアウトドアの人気の高まっている。コロナ禍で海外旅行ができず、域内旅行の需要が高まったことに加え、アウトドアは人混みを避けることができ、ソーシャルディスタンスを保ちやすいことが人気の要因だ。

昨年末、台湾に駐在する日本の地方自治体職員が中心となり、「日台友情」をテーマにサイクリングで台湾を一周しながら地方の方々と交流する「日台友情・共に走ろうサイクリング環島」を実施した



(写真1) サイクリングでの台湾一周の様子

（写真1）。台湾一周 891 kmの道のりを9日間かけて走破する過程で、サイクリングで台湾を一周する環島の魅力を肌で感じることができた。飛行機や電車の移動では点と点の観光になるが、サイクリングの場合はスタートからゴールまで全てが観光と言える。

私たちは初心者グループであり、走行の安全やペース配分のため、車列の前後にガイドとサポートカーを付けた。パンク等の故障があった際は、すぐにタイヤを交換してくれるし、定期的な休憩時には軽食や飲料等を準備してくれる。また、スマホや小銭等最低限の荷物以外はサポートカーに積んでおき、自転車に乗る際は身軽になれる点もとても助かった。サイクリングの経験が浅い人が環島を走行する場合は、こういったサポートが必須であると感じた。

### 2. 九州におけるサイクルツーリズムの可能性

#### (1) サイクリングによるインバウンド誘致の九州での取り組み

九州・山口サイクルツーリズム推進委員会<sup>1</sup>において、「九州・山口一周ルート」をはじめとする県域を跨ぐ3つの広域推奨ルートを新たに設定し、それらの情報を掲載した「九州・山口サイクルマップ」<sup>2</sup>（写真2）が今年5月に完成した。今後は、サイクルステーション設置等の受入環境整備や新た

<sup>1</sup> 令和2年度、九州・山口サイクルツーリズムの推進を目的として設立された。山口県、九州7県、沖縄県、一般社団法人九州経済連合会及び一般社団法人九州観光推進機構で構成される。

<sup>2</sup> 福岡県記者発表資料 <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/kyusyuyamaguchi-cyclemap.html>

な広域推奨ルートの設定も検討していくこととなっている。それと共に、サイクリングをサポートできる団体との連携やガイド人材の育成も必要だと感じる。台湾の場合、サイクリングを普及・推進していくための非営利目的の団体が複数あり、その団体において、ガイド育成のための研修や技能認定を行っている。2023年10月には、国際自転車レース「ツール・ド・九州2023」<sup>3</sup>が福岡県、熊本県、大分県を舞台に開催されることも発表されており、九州におけるサイクルツーリズムの魅力を世界に発信する絶好の機会となるはずだ。



(写真2)九州・山口サイクルマップ

## (2) サイクルツーリズムの有力なターゲットである台湾

台湾は、九州が取り組むサイクリングによるインバウンド誘致の有力なターゲットとなるはずだ。台湾はジャイアントやメリダといった世界的にも有名な自転車メーカーを有しており、都市部にはシェアサイクルも整備されているため市民の足として自転車が日常的に利用されている。台湾教育部体育署の2017年調査によると、運動習慣がある市民が行う運動で、「散歩・ウォーキング」、「ジョギング」、「登山」に次ぐ4位が「自転車」となる等、人気の運動の一つとして広く認知されている。

また、台湾からの訪日旅行者のリピーター数は、国・地域別で最も多い<sup>4</sup>。リピーター数の多さは訪問地の多様化に繋がっており、定番の観光だけでなく、これまでにない新たな観光の楽しみ方へのニーズも高い。そういったニーズの高さは、台湾から海外へのサイクリング旅行商品は、フランス、ドイツ、タイもあるものの、圧倒的に日本が多いことにも繋がっている。

更に、台湾の観光局は、2021年を自転車旅行年と定め、各観光地とサイクリングの結びつけや旅行商品の造成等の取り組みを行っている。交通部（国土交通省に相当）もインバウンド向けコースの設定や関連イベントの開催、コースの安全性向上等のため2020年から2023年までの4年間で32億元（約124億8千万円）の予算を計上している。サイクルツーリズム推進に積極的に取り組む台湾と連携すれば、相互にサイクリング旅行者を送り合う等、Win-Winな関係性を築いていくことができるのではないだろうか。

※為替レート 1台湾元＝約3.9円

<sup>3</sup> 九州経済連合会と福岡県、熊本県、大分県などが作る実行委員会が主催。世界から18チームの参加を想定しており、4日間の日程で3県を巡る予定。

<sup>4</sup> 出典：観光庁・訪日外国人消費動向調査